

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

～ プレ講座 四の巻 ～

言霊の究極奥義

『エンペラーコード-人類の帝王学-』

～ 究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する ～

柳田：みなさんこんにちは。エンペラーコードプロデューサー兼ナビゲーターの、本田圭佑です。間違えました、柳田厚志です。

南：皆さんこんばんは。滝川クリステルです。

柳田：「こんばんは」できましたね。

南：滝クリといえば「こんばんは」です。ですが私は南恭子です。よろしくお願いいたします。

柳田：よろしくお願いいたします。じゃ、僕も小泉進次郎が良かったですか？

南：そうだね。

柳田：そうしますか。怒られそうですけど。

ということで、いよいよ最後の、プレ講座最後の四の巻ということになりまして、我々も改めて身が引き締まる思いというか、正装で、まるで結婚式のように、小泉進次郎さんのようになってきましたけれども。滝川さん。

南：はい。

柳田：今日も大野さんに来ていただいております。

南：そうですね。大野先生、最後まで姿勢を崩さず、私たちの悪ノリを温かく見守っていただきました。今回もよろしくお願いいたします。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野：よろしくお願いします。

柳田：大野さん、よろしくお願いします。

大野さん、今日はやっぱりここに触れないといけないんですが。

南：はい。

柳田：南さん、びっくりじゃないですか。こちら。

南：そうなんです。この背景、何でしょう、この不思議な、箱庭のような。大野先生、これ何ですか？

大野：これは私どもの祝殿という建物がありまして、その建物の中でいろいろ祭祀を行っているんですけども、その建物の床の部分ですね。というのが、昔でいうと枯山水と言いますかね。そういったデザインをガラス板の下に作っております。

何でこんなデザインがあるかと言いますと、元々この宇宙っていうのは水から生まれたっていうこととですね、この水が渦を巻いてこの宇宙創造が行われるっていう。これは神話からきているんですけども。その神話の教えを床下のデザインに採用したということになっていまして。

ただ通常はこの上に畳が敷いてあって、この中身は見えないんですけども。

南：どうして、せっかくこんなに綺麗なものを作っているのに、畳を敷いちゃってるんですか？

大野：畳の上で、いわゆる神道のご修行っていうのをやるんですね。その時に体が動くもんですから。これ強化ガラスですけども、体がぶつかるちょっと痛いことが。

南：そうですね。

大野：あつてですね。前はちょっとそういう所でやっていたんですけども、最近門人さんと言いますか、一緒に修行される方増えましたので、怪我があるとね、いろいろ問題になりますので、畳を敷いて今やっております。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：なるほど。ということで本当にこの神聖な、大野さんをはじめとした皆さんが修行もされるような場所です。

私もね、何度も行かせていただいたことがありますけども、凄くもう凜とした場所になりますけども、こちらを背景に、背景にじゃない、こちらから、お届けしたいと思います。

南：今日はガラスの上に直に。

柳田：気付いたら私もね、興奮し過ぎて、せっかくのポケットチーフがね、中に落っちゃいました。

南：しまったのかと思いました。

柳田：いえいえいえいえ。南さんにちゃんととっていただいた、スリーピックスで行きたいと思います。

それでは早速第4回、そしてプレ講座の最終回でもありますね、今回のテーマをいってみたいと思います。

南：言霊の究極奥義「エンペラーコード」、宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する、オンラインプログラムの全貌公開です。

柳田：ということで遂にやって来ました。

2019年令和の時代になってから遂に公開された究極の言霊奥義「エンペラーコード」のオンラインプログラムという形で、本当に思いがある方、気持ちがある方ですね。この教えを受けたいという方には、オンラインを通じて。このテクノロジーを通じて、全ての方に手に入る時代になったということで。今日はそのオンライン講義、オンラインプログラムの全貌についてたっぷりとお届けしたいと思います。

これはですね、改めて新収録という形で、我々また3人収録させていただいておりますけれども、その本講座の中身に関しては、実際に前回収録したものがありますので、そちらをまずご覧いただきながら、途中から、本講座の本当の中身に関しては、実際に行ったものをベースに。

南：そうですね。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

柳田：またお届けしたいと思いますので、まずはこちらからご覧いただきたいと思います。それでは行きましょうか。どうぞ。

柳田：そして今日は、最後のセッション、最終回ということで、こちらのテーマになります。

南：最終回のテーマは、『言霊の究極奥義「エンペラーコード」—宇宙想像原理「十種神宝」の教を伝授する—』。

柳田：ということでこれまで3回に渡って大野さんにたっぷり、本当にたっぷり聞きすぎたところもあるんですが。

南：そうですね。

柳田：プレ講座でもサービスしまくっていただいて、教えていただきましたけれども。今日は最後ということなので、そのプレ講座の総括というか、そういった意味も込めてのまずお話をいただいて、その後多くの人が楽しみにしている本講座ですね、5月から始まる本講座の具体的な内容について、教えていただきたいと思います。大野さんよろしくお願いします。

南：お願いします。

大野：よろしくお願いします。

柳田：それではまず早速、全ての総括にあたるこちらのテーマからです。

南：『究極の宇宙想像原理 十種神宝—とくさのかんだからとは何か？—』。

柳田：十種神宝とは何かということなんですが。まず、こちらですね。

南：「口伝のみで伝わってきた、言霊の最終奥義はここにある」。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：ということなのですが、大野さん。

大野：今回、以前の3回のセミナーということで、いろいろお話しをしまいましたが、言うなれば3回のプレセミナーというのは、この「十種神宝とは何か」を説明するための、前段階の準備だったんじゃないかなと思うんですね。ただ実際に十種神宝を説明しますと、すぐに終わってしまうような内容でもあるわけです。

というのは単純すぎるがゆえに、その奥には非常に深いものが存在してしまっていて。ですから前回3回のプレセミナーでお話しした内容っていうのは、実はそれぞれに十種神宝のエッセンスがもう入っていると言っても過言ではないんですね。

ですけどこの十種神宝の具体的な中身というか、実態についてはこれまでお話ししてきませんでしたけれども、今日はその部分についてふれたいと考えております。

柳田：そしてこちらは口伝のみで伝わってきたということで、本当に限られた人だけに、直接信頼できる人だけに伝わってきたもの。で、言霊の最終奥義というふうに言っていて、我々も、僕自身もまだもちろん知らないです。それを遂に開示していただけるということで。何度もこれまでもお伝えしてきたように、やっぱそれだけの時代になっているということで。

大野：そうですね。そうでないとやはり、今ここでこうしてお話しをすることは無かったですでしょうし。

柳田：大野さん自身がその先生の下で修業されてというか入られた時に、まさかこんな日が来るとは思わなかったと。

大野：全く思わないですね。ほんとに、一生無いんじゃないかっていうぐらいに思っていましたね。

柳田：私も聞いたことがあるんですけど、昔はというか、大野さんの時代もそうですけど、全てを捧げて、お金とかだけじゃなくて、全てを捧げてきた人だけが教えてもらえるような時代だったということなんですけど。そういうことから考えると、凄い変化ですよね。

大野：そうですね。で、その全てを捧げて、それで入門ぐらい、入門が許される程度でしたから、その先はやっぱりもう、またその本人の自覚とか、気持ちの入れ方ってのがあったでしょうけれども。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ですから今回はこの入門編どころか、もうほんとにゴール地点のようなお話をするわけなので、これは本当に考えられないというか、夢にも見なかったっていうようなことではあるんですよね。

柳田：それほどの教えだということなんですけれども。具体的にさらに踏み込んでいくとこちらです。

南：「あなた自身が神を知り、神を掴む科学的な技法」。

柳田：科学的な技法になってくるわけですね。

大野：そうなんです。結局この「十種神宝」というものは、古代の人が知っていたのかどうか分かりませんが、現代の量子力学ですとか、あるいはその先に行くような科学で分析すると、実に理にかなった仕組みになっていまして。その仕組みをこの十種神宝の宝の1点1点が役割を持って働いてくれるっていうことがありまして。ですから科学的という意味においては、もちろん一子相伝ではあったんですが、逆に科学的であることによって、たくさんの人に伝えることも可能になっているというか。

これはある種、予測していたのかどうか分かりませんが、そういった神秘の世界ではなくて、科学的な仕組みであることによって、実はいずれこういった時代に、たくさんの人に広まることを期待していたんじゃないかとすら思えるような、そういう側面もあるんですね。

柳田：それだけ前回も出てきましたけどシステム化され、誰でも掴める。でもその掴めるのが、自分自身が神を知って神を掴むということで、それは非支配というか、これまで教えてもらった、そういう流れにつながってくるわけですね。

大野：そうですね。でも何よりもやはり自分自身がその神を体感するっていうことがあれば、非支配とかそういったものは二次的なものとして。つまりその神を掴むということの副産物としてそういったことも入っていますよということであって、やはり一番の基点というのは、自らが神のごとくというか、それを体感するいうところがあって、そこからいろんな世界が広がってくるっていうことかと思うんですね。

柳田：なるほど。

大野：ですから十種神宝というのはあくまでも、神を知ったというところから使う技ではあるんですが、一方で先ほどの科学という観点を含めてお話しをすると、神を知らなくてもその道具を使えば、逆に知

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ることが出来るという逆算的なお話も出来るんですね。

柳田：なるほど、そうですね。深いですね。そしてこちらですね。

南：「あなたが十種神宝で、現実を創造するための帝王学」。

大野：結局この現実を創造するために何が必要かということ、いろんな物言いがありますけども、最終的には意識の最小単位っていうものが現実の構成要素になっているということになりまして。それが何かということ、これまでもお話ししてきたように、「言霊」なわけですね。ですからこの言霊というものを使って、現実を創るという技が十種神宝に入っています。

それは具体的にどういうものかということ、これは冊子の方に書いてありますけども、沖津鏡・辺津鏡という鏡であったり。また、八握剣という剣であったり。また蜂比礼・蛇比礼っていうのがありますが、これも剣の一種と見ていただいて構わないんですが。あと玉ですよ。生玉・足玉・道返玉・死返玉というのがあって。簡単に言うと剣と玉と鏡で作られているってことになるわけです。

で、これがよく皆さんもご存知の「三種の神器」ってありますけども、それと同じものを意味しているんですね。もっと言うとその三種の神器になる前は、この十種神宝であって。その宝の1つ1つを日本の古い、語族と言うんですけども、いろんな各家があって。で、持ち寄って十種神宝にし、それが三種の神器になったっていうことになりまして。

つまり、あらゆる日本の英知の総結集であるっていうことなわけで、このうちのどれかが足りない現実創造にはいけないわけですから、ここで何が必要かということ、やはりこの合意ってものが必要なんです。これはですね。

元々十種神宝はあくまでも言い伝えですけども、饒速日命という神が十種神宝をもらってこの地にやってきますけれども、最初にもらったのが鏡なんですね。そこからあらゆる展開をしていくんですけども。それは結局、じゃあ具体的に何であったかということ、言葉を現実にする技であったっていうふうになってくるわけですね。

柳田：そんなに喋っちゃって、大丈夫ですか。

大野：これは十種神宝の1個1個の説明ではないので。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：まだ入口の入口な。

大野：一応その全容であり、逆に1個1個説明しても、かえって分かんないんですよね。

柳田：なるほど。

大野：全体としてどういうことなんだっていうのをお伝え出来れば。あと中身はまた別途、知っていた方がいいと思いますし。

柳田：ありがとうございます。

そのいわゆることだま、言霊であり、やはり最終的には大事になってくるのが言霊であり帝王学でありということで、参の巻までもお伝えいただきました、教えていただきましたけれども。

それが今までは天皇ただ1人のものだったのが我々の時代になってきて、私たち含めてみんなが知り、扱えるようになる必要があるということなんです。南さん、これからの時代に、大切なライフ・スキル。

南：覚えてますよ。

柳田：三つ何でしたでしょうか。

南：嘘をつかないこと。等身大に生きること。人のために生きること。

柳田：どうでしょうか。

大野：(ピンポン)

柳田：ちょっと参の巻では聞き忘れましたが、改めてこれでも、やっぱ大事ですよ。

大野：そうですね。結局そういった、今おっしゃっていただいた三つの要素があって、実はそれが出来ることによって、初めて自分という存在を客観視できるんですね。ごまかしが無いので。ありのままの

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

自分をそれ見ることが出来るわけですね。で、ありのままの状態を見ている自分というのが、自分でありながら見ている存在ですよ。

この存在というのが実は異次元に、この場合、五次元以上の世界につながっていて、その自分があらゆる技をこの現象界に起こすことが出来るわけですね。

柳田：なるほどですね。

大野：ちょっとこれ凄く難しい表現になっちゃいますけど、ここまで皆さん見ていただいているんで。ですから自分をごまかすようなことがあったり、あるいは物事を捻じ曲げて見るようなことがあると、そもそもこの上の階層には入れないわけですね。

なぜならばもう1人の自分が、まずは出ようにも出れなくて、ごまかしの自分をもう1人作って、ただそれで見てる、見てないって関係を作るんですが、そういった関係を越えたもう1個上の次元の自分に、馬鹿正直であると至ることが出来るまして。その自分が実は先祖とつながり、神とつながり、もの凄い力を発揮して、この今の現実の自分を変えていくっていう、そういう理屈もあるわけです。

柳田：なるほど、よく分かってきました。そして最後ですね、こちらのメッセージになります。

南：「精神遺伝子をオンにせよ！」。

大野：今回お伝えしたいことはもちろんたくさんあるんですけども、この帝王学っていうことで、一つは誰も支配しないし支配されないっていうことを以前言いましたが。ただ結局最終的に、なぜ誰も支配しなくていい、また支配されなくてもいいということになるかというと、もう自分自身が自分で宇宙を創造できるっていう立場だからっていうことがあるわけですね。

つまり誰に頼らなくてもいいし。また誰かを支配しなくても、自分で言霊で現実を創れば、それで足りるわけなので。支配されることもしなくとも、別にその必要性が無いっていう状態になるわけですね。

柳田：なるほど。

大野：でもその状態に至るためには、いま現在の自分の遺伝子。そこにはいろんな先祖の念とか汚れがあったり、現世で付けてしまった穢れもありますけども、そういったのを綺麗にすることによって遠津

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

御祖神とつながって、で、遺伝子が綺麗になって。これまでオフになっていたスイッチが、どんどん目覚めてくるんですね。

中には前回の YAP 遺伝子のように親切遺伝子っていうものが、これはもちろんいわゆる体遺伝子ではなくて精神遺伝子にも入ってますんで、そういったものを目覚めさせることが出来て、結果自分というものが、頭の世界だけじゃなくて体、もしくはそれよりもっと奥の遺伝子レベル、または霊的な存在としての変化が起きてくるということになって。ですからそこに導くための、最高のツールでもあるっていうことですね。

柳田：ということなので、一の巻でお伝えした YAP 遺伝子に関しては凄くコメントでも反響ありましたがけれども。我々1人1人の中に眠っている、オフになっている遺伝子を、この教えを学び、掴むことでオンにしていくという、そういう崇高な目的があるわけですね。

なのでちょっと毎回お伝えしていますけれども、誰でも参加してくださいというようなものではなくて、しっかりここまで見ていただいて、自分もその公として生きるという方々ですね。そういった方に今回は参加をしていただく、そういった講座になっております。

というわけで続いてはいよいよ、本講座の中身について見て行きたいと思います。

それではですね、また場所を変わらして、外に出てきましたけれども。

南：いいお天気ですが。

柳田：いいお天気ですね。ちょっと僕も暑いです。大野さん、こちらは？

大野：石上神宮ですね。これも十種神宝に縁のある神社ということで、ちょうど今、柳田さんの後ろにある、この拝殿がありますよね。あそこに地下に、いろいろ宝が眠っていたといわれていますね。

柳田：ということで、そのエンペラーコードに非常に縁のある場所からお伝えしたいと思うのですが。こちら、いよいよ本編の、紹介に入っていきます。

南：『言霊の究極奥義 エンペラーコード—人類の帝王学—究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する』

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：ということで、まずですね、この、そもそもはなぜをやるのかというところのビジョンを、ちょっとご紹介したいと思います。

南：『「神の遺伝子」をオンにし 真の帝王学を身につけることで、輝ける人類の未来を創造する』。

柳田：ということで大野さんこの中に、短い中に全てが凝縮されていると思うんですけども、いかがでしょうか。

大野：先ほど言ったことがそのまま書かれていると思うんですけども、その「神の遺伝子をオンにし」ってのは、結局自分が神になるってことを言っていますよね。

で、「真の帝王学を」というのは、結果的に自分が神になったと仮定して、言霊を自由に扱えるようになれば、それはもう本来の帝王ですから。ですからそういった立場として、人類の未来を共にっていうのは、もうこれまでお話をしてきた通りのことが、そのまま表現されていると思いますね。

柳田：やはりここに同意される方、共感される方にご参加いただきたいというふうに思います。で、その中で今回の特徴なんですけれども、これもね、繰り返しこれまでの中でもお伝えしてきたので、本当に一言ずつ大野さんからいただきたいと思うんですが、まずこちらですね。

南：特徴一ですね。「天皇の帝王学を人類史上初めて公開」。

柳田：ということで人類史上と言っていますが、本当に初めての公開となるわけですね。

大野：これまでですから、繰り返しのなりますけれども、私ども白川の門人ですら教えてもらえなかった内容です。また、たぶんこういった、いま令和っていうそういった時代にこれから入るわけなんですけれども、そういった区切りであり、またその裏にあるいろんな事情が絡んでいて、この公開っていうことですから。逆に言うと本当にあらゆる要素が重なったことによって、今回そういった流れになったと思うんですね。

柳田：なるほどですね。

大野：どれか1個欠けていたら、そうはなんなかったかなっていう感じもしますね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：なるほどですね。確かにでもそんな感じもしますよね。今まで僕らも、このタイミングでこういう講座をやるっていうのは初めてなんですよ。今までもっと違う時期にやったりしていましたので。常にその時期っていうのを凄く大切にしていまして、正に今回の新しい時代に相応しい内容じゃないかなと思います。

そして二つ目の特徴はこちら。

南：「概念を変え、遺伝子レベルで変える」。

柳田：これも繰り返しお話しいただきましたが、ポイントは、概念を変えることで遺伝子レベルを変えるところかなと思うんですが。

大野：そうですね。最初はいきなり神秘体験するっていうんではなくて、本来の物事の道理というか秩序というか、あり方というのを、まずは言葉として、概念として知っていただきたいんですね。で、人間っていうのは本当に奥底から「なるほどそうか」と思ったら、遺伝子も変わっちゃうんですね。ただ上っ面で「ああ、はあ、なるほど」っていうんでは変わらないですけども、実はそうだったのかって本当に感動するというか、根こそぎ体をもってかれるような理解を得た時は、変わるんですね。

柳田：なるほど。いわゆる確信というか。

大野：そうです。

柳田：そういう状態なんですね。

大野：確信です。

柳田：ということは、この教え、教えと言っていますが、講座って言っていますが、この講座でしっかりと確信していただいた方は、遺伝子レベルで変わっていくと。

大野：そうですね。それは狙っているとも言えますし、この概念が変わって確信ということになって、じゃあ遺伝子が変わるっていうレベルで変わるとなりますと、たぶん皆さん何らかの、普段無かった体感とか気付きとか得られると思うんですね。その時にはもはや概念ではなくて、皆さんの体感として定

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

着というか染み渡りますので、そうするとまたより言霊を使えるレベルに、さらに近付くってということが言えると思うんですね。

柳田：なるほどですね。僕は結構体鍛えたりするのでよく分かるというか。細胞とかって3ヶ月で入れ替わるってよく言うじゃないですか。つまり3ヶ月前と、細胞レベルで言うと全く別人なわけですよね、人間みんな。ただ考えとか、自分の性格とか、何か自分自身っていうのは、何かずっと変わらないものだみたいに思い込まされていますけど、それも変わっていくってことですかね。

大野：そうですね。そう思い込まされているのと、あと自分自身が変わりたくないんですよね。変わらない自分を愛しているというか。そこに安住しているというかですね。

ですから、逆に言うと変わらないとまずいという状況にある人の方が、変わりやすいことは確かですけどね。

柳田：確かにそうですね。そして三つ目の特徴です、こちら。

南：「祓い・鎮魂・言霊の、全ての大元となる教えを伝授」。

柳田：ってということで今回、いま「祓い・鎮魂・言霊」というのが、全く初めての方もいらっしゃると思いますし、和の成功法則などで経験済みの方もいらっしゃると思いますが、その全ての大元となる教えが、こちらだということで。

大野：そうですね。ですからこれまでそういった和の成功法則ですとか、「祓い・鎮魂・言霊」やってこられた方は、さらにその奥の「十種神宝」の世界に入りますけれども、実はそこに入って、またこちらに戻ってくるんですね。つまり最終的な実践方法というのは、この「祓い・鎮魂・言霊」にやはり集約されるんですね。

ですけど、ただ今やっているというだけではなくて、その奥の世界を見て戻ってくると、もう別人になってまた出来るっていうところもまたあるわけですね。

柳田：なるほど、なるほど。でも凄くそれも分かりますね。ということなので、もう全ての人にですね、有益な学び、教えになるんじゃないかなというふうに思います。そして特徴の四つ目こちらです。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：「天皇だけが持つことを許された、現実創造の最強の言霊を伝授」。

柳田：これは教え自体がそうではあるんですけども、もうこれは現実創造の最強の言霊も伝授していただけるということで。

大野：そうですね。これも軽々しく「そうですね」っていうものでもないんですけども。

言霊と言っても、段階があるんですよ。一つにはまず表現される言葉としての言霊というか、例えば大祓いとかいろんな祓い言葉があって、それは完成されているわけですよ。ですけども、その元の言霊っていうのは、言葉になる前の状態を言うって前回、前々回言いましたけども、そのレベルによって効果も全く違うというわけですよ。例えば単純に言うと、粒子が細かければ細かいほどその実現能力は高くなりますし、粒子が荒ければ荒いほど、段々実現性が弱くなってきます。

ですからこの「最強の言霊」というのは、祓い言葉とかそういった言葉か何かっていうだけではなくて、それも一部ふれますけども、その元になる言霊とはいかなるものであるべきかっていうところにふれますので。たぶん普段一般的に出しているのは言葉でしかなくて、自分で言霊だと思っているものも、まだまだ言霊からすると目が粗すぎるっていう状態になっていると思うんですよ。

じゃあ、ほんとのそれとは何かっていうところの教えというのは、これはなかなか無いんですよ。言霊学でもやはりそこは詳しく教えてませんので。ですからそういったところにもふれるってことですね。

柳田：ますます凄い世界になりそうですね。そして最後の特徴です、こちら。

南：「十種神宝の教えを科学的に解明」。

柳田：科学的に解明というところが特徴ですね。

大野：元々がその十種神宝自体が、おそらく古代という時間軸にあっても、その当時のほんとに宇宙科学っていうか、最高の科学であつたに違いないんですね。

ところがそれを現代的に、現代の科学のもうちょっと先の科学になっちゃうんですけども、前回お話ししたスカラー波とか重力波とかっていう世界で考えたり。またいわゆる四次元、五次元って話ではなく、十次元、十一次元っていう世界で物事を見てみると、実はこの教えというものが、極めて整合性という

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

か、取れたものであることが分かるんですね。

で、それは如何にして十種神宝の教えというのが科学に当てはまり、その当てはまった科学が如何に現実に応用されるかということを解明するという意味においても今回初めてであり、たぶん本当にこれは、なかなか普通は出来ないお話だと思うんですね。

柳田：そういった特徴を持つ本講座ですね。

柳田：ということでクリステルさん。また、新収録に戻ってまいりました。

ここまで特徴等々お伝えしてきましたけれども、ここからは再び我々3人で、新たな気持ちで、「エンペラーコード」のオンラインプログラムの実際の内容について、たっぷりお届けしたいと思います。

大野さんはいらっしゃいますでしょうか。

南：いらっしゃいますでしょうか。大野さ～ん！

柳田：いらっしゃいましたね。

南：良かった。

柳田：良かったです。

ということでこちら、ちょっとご覧いただきたいのですが、オンラインプログラムですね。早速中身を見ていきましょう。

南：「真実の人類史、悟り、帝王、祓い、鎮魂、言霊」。

柳田：ということで、これ『第一回：十種神宝への道』ということなんですが、全3回でお届けしてい

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

きます。その第一回ですね。本講座『第一回：十種神宝への道』ということで、もう興味深いキーワードが並んでおりますけれども。これ実際どういう内容かというのは、より詳細に見ていくとこちらになります。

大野さん、ちょっとこれ第一回の講義内容なんですけれども。いくつか特徴的なところ、大野さんがお伝えしたいこととかがあってありますかね？ 読者の方々、ご覧になっている方々に。

大野：そうですね。やはりまず、そもそものこの講義をする私がどういう人間かっていうのを知っていただくというのが、最初にあるんですよ。誰が喋っているのか分かんないっていうんではちょっと困りますので。

で、それを導入としまして、もちろん今回の目的っていうこともありますし。ずっと以前『和の成功法則』ということでやってきた、いわゆる世間一般的な成功への道っていうんですかね、そこに至るために何をしたらいいかっていうことを前哨戦でお話しをしまして。

で、大事なポイントはこの6番以降ですかね。「真実の人類史」ということで、一般の方々が知らない本当の人間の歴史というのはどういうものであったかということですね。

また、この「祓い」「鎮魂」「言霊」っていう、これが実はもう全ての源の教えということになるんですけれども。その教えがどういうものかということを十種神宝の教えと併せてお伝えすると。

つまり言い方を変えますと、十種神宝という神器はですね、この「祓い」「鎮魂」「言霊」のいわゆる具体的なやり方というか、その真髓っていうんですかね。それを形に表した神器なんですね、これは。

柳田：なるほど。

大野：ですからこの「祓い」「鎮魂」「言霊」っていうのは、これまで本でもいろいろ紹介してきましたけれども、それを十種神宝で表現するとどういうことかっていうことをセットにしてご説明するというところで。これはこの「エンペラーコード」が初めてですね、それを明かすっていう内容でもあるわけですね。

南：いま大野さんが、まず大野さんご自身がどんな人なのかを知ってもらってというふうに最初のお話あったんですけれども、いま実は皆さん、大野さんの顔が見えないじゃないですか。当然本講座の方で

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

は、お顔も出していただけるんですよ。

大野：もちろんですね。

柳田：直前までマスク被る予定なんです。

そうですね、もちろん出していただきましたし、皆さんこのオンラインプログラムの方でも、もちろん会員さんしか入れない、メンバーさんしか入れない、プログラム受講生しか入れないサイトではありませんけれども、何と、公開しております。高倉健ばりの。

南：ね。ダンディな、とても品の良い。

柳田：そうですね。皆さんもそのね、講座のメッセージとか言葉を通じて既に感じられている方もいらっしゃると思いますが、オンラインプログラム上は実際の顔を見ながら、直接学びを得ていただくようになっております。

そして元々あった「祓い」「鎮魂」「言霊」。ずっとこれまでお伝えしてきたものの最上級バージョンというか、十種神宝としての「祓い」「鎮魂」「言霊」ということなので。これがまたすごい教えだったんですけれども、詳細は本編見ていただきたいと思います。

南：そうですね。

柳田：ちょっと、第一回に関して、いくつか実際の本講座で使われたスライドを基にお話、聞いてみたいんですが。まずこちらですね。

こちらは何でしょう？

南：「メンタルプロセッサシステム要件定義チャート図」。

大野：こちらの図はですね、これは私どもの研究所の紹介っていう所で使った図面なんですけども。これは人間の感情を800に分けまして、それがどういう状態で分布されているかというのを、こういった表に表したわけですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

で、一見するとちょっと分かりにくいかもしれませんが、神魔人獣って言いまして、人間の心の中の神の世界ですとか魔の世界ですね。あるいは人の世界、獣の世界っていう。

そもそも人間ってのは感情の動物ですけども、その時々で様々な感情を経験しているんですね。それが大体、実際には何千とあるんですが、まとめると 800 ぐらいになりまして。それをさらにまとめますと、こういった曼荼羅状に表記できるっていうことになっていまして。実はこの曼荼羅の中心部分に意識を持って行きますと、別の次元に昇華するというのが教えとしてあるわけですね。

なんでそういった研究もしていると。つまり感情という階層を徹底的に理解しないと、この上の階層は理解できないので、まずこういった感情については研究をこれまでやってきましたっていう、過去の紹介ですね。

柳田：これね、右上っていうか「社外秘」というのも出ているんですけども。この中に 800 の感情、全部入っていて。

で、その何か、よく聞くのが人間ってやっぱ感情の、何か得たいっていうのは結局感情が得たいというのがありますがけれども。研究所でやっているのは、さらにその上の部分をやっているというところですよ。大体これ出すとみんなびっくりするんですけど。

大野：そうですね、あんまり馴染みがないっていうんですかね。

でもこれも、普通に人間が考えて作れない感情なので。いわゆる生きている人間からデータを取った以外に、こうやって言うとなんですけど、亡くなった人間のデータも取っているんですね。

言わば亡くなった方の霊を呼び寄せて、その感情をここにまた。特にこの魔の感情の所は入れているんですね。なので霊能者の方見ると実際そこから魔が本当に出ているんで、仰天するケースが多いんですけど。ただそれぐらい、何と言いましようか、徹底的にやるのが私たちのやり方なんで、相当網羅して、感情をやっていますし、全部同じようにやっているの、そういう紹介だったということですね。

柳田：こういう、普段公開しないベースの上に発表されている成果であるとか。作品で…、製品であるとか。あるいは今回のような講座でお話しいただいている内容があるということですよ。

大野：そうですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：どうですか？

南：800 の感情って、ちょっと自分で整理が出来ないです。

柳田：本当に凄いベースの基にやられているというのは、伝わります。

そして、次もまた何か凄いんですけども。こちら。

南：何でしょうか、これは？

大野：これはたぶん、パッと見はですね、何か砂嵐みたいなものに見えますけれども。

南：何かのミスかと思いました、今。

大野：これは全部文字が入っているんですね。で、これは、現代の西洋医学の病名 25,000 を、この 1 枚に全部のつけているんですね。

これ以外に東洋医学が 6 万ぐらいあって、実際私どもデータベースは 8 万以上あるんですが。

これは何でこんなことをやっているかという、全てを網羅して 1 枚にのつけるんですね、まず。今度はそれを、例えばこの場合でしたら、白川神道の荒神祭祝詞っていう、いわゆる神の言葉があるんですが。その言葉と病名を合わせて、それを言霊として発信すると、ここにのつけた病気が治ってしまうっていうことが起きるんですね。

ちょっと治るっていうと、薬事法上また、文句を言われたら嫌なんで、あんまり言いたくないっていうか、言っちゃっていますけど。ですからそういう…。

柳田：そういう教えがあるということで。

大野：ええ。元々病気、かつてはそんなに病名っていうのは存在しませんでした、病名をまず唱えて、次にいわゆるそういった祝詞っていうか祓い言葉があるんですね。それを唱えることによって、その病気を吹き送るという技が日本には古くからありまして。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

それを私どもはずっともう長らくいろんな実験、本当に何万件とやって。実際にその通り効果があるということが分かりましたので、それをデジタルデータに置き換えまして行ってみたところ、デジタルの方がもっと効果があるってことが分かりまして。

で今、こういった病名ですとか、また軍事関係とかですね。そういった世界のいろんな武器とか兵法とか、そういったものを網羅したりとかですね。あるいはその靖国の英霊、250 万だかおられますけど、その方の名前全部実はこうやって網羅してますね。で、その、いわゆる慰霊ってことをやっています。

柳田：凄くないですか？ 逆に言うと、つまり全ては言葉で出来ていると言えるってことですかね。

大野：いや、おっしゃる通りですね。もちろんこの講座ではっきり分かると思いますけども、言霊（げんれい）とかことだまっていうものは、全て言葉で出来てるっていうことの意味ですから。

言葉によって、全てを変えることが出来ますし。また、亡くなった方が地獄に落ちたのであれば、言葉で天国に持って行くことも出来るっていう、そういうことなわけですね。

柳田：いや～、ね。

南：凄いですね。

柳田：私も受講したのに、あえてここで聞くと、また凄いなと思いましたけれども。第一回の一例として、感情のチャートとそしてこの全ての西洋医学の病気を網羅したという、病名を網羅したという、ちょっとスライドをご紹介しました。

実際、第一回にいただいた受講生の感想も、ちょっとだけご紹介したいと思います。

南：「日本人として、本来持っている精神性を取り戻したい」、「日本にあるこうした叡智があることをうれしく思いました」、「すべて深い内容で素晴らしかったです」。

柳田：っていうことで皆さんもね、これちょっとお読みいただければなと。もちろんこれ本当に一部なんですけれども。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

第一回目からもう多くの方、凄く喜んでいただいたというか、驚いていただいたというか。元を取ったみたいな声、たくさんいただいたんですけども。

いや大野さん、第一回は締めくくるとどうでしょうか？

大野：第一回目がまだ十種神宝の本筋には入っていませんけれども、これまで私どもの研究成果の部分、また「祓い」「鎮魂」「言霊」の基礎的な部分っていうのは全部入っていますので。第一回目だけの内容でも、かなりの学びになるんじゃないかと思いますね。

柳田：今回初めて特に、この教えに出会ったような方。「祓い」「鎮魂」「言霊」も初めてという方は、特に深く刺さる内容なんじゃないかなと思います。

では続いて第二回です。

南：『第二回：帝王のための十種神宝』。帝王学、カバラ、陰陽五行論、白川高等神事、十種神宝に秘められた宇宙創造原理。

柳田：ということで、こちらのテーマで実際に大野さんにお話しいただいた内容が、こちらにあります。

どうでしょう、大野さん。第二回の講義内容、いかがでしょうか。

大野：そうですね。いま振り返ってみてもやはり、第二回目は特にまた内容が濃いところがありまして。世界中にいろんな帝王学ってのありますけども、それを網羅しているっていう部分もあったりですね。

一方で、カバラにしても、中国の易経とか陰陽五行論にしても、これはちょっとこの段階で言うべきではないかもしれませんが、そもそも十種神宝から全部生まれているんですよね。その理由とかですね、その意義とか、そういったことをお話ししていますので、これだけで歴史を、ある種覆す側面があるんじゃないかと思いますし。

やはり第二回目は、一番大事なのは、この十種神宝というものの、これ10個宝があるわけですから、それぞれの意味を明かすっていうところにあるかなと思うんですね。

柳田：そうですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野：これがやっぱり今回、恐らくは人類史上初めての公開っていう感じではないかと思うんですね。

柳田：そうですね。ハイライトとも言える第二回でしたけれども。南さんも実際にお越しいただいて、あの熱狂の中、来ていただきましたけど、どうでしたか？

南：いやもう本当に、でも皆さんがもの凄い熱い思いを持っているなっていうのを、やっぱりあの会場で感じましたね。すごく皆さん熱心でしたし、もう大野先生に向けるまなざしも凄かったですよね。

柳田：そう。特に二回目っていうのは先ほどおっしゃったような形で初公開というような内容もあったんですけども、ちょっといくつか本講座で使ったスライドをご紹介しますながら、大野さんに聞いてみたいと思いますけれども。

まずこちらですね。こちらはどうでしょう？

大野：これはですね、日本語っていう言葉があるとしますと、そのベースは五十音であり、五十音図っていうのがありますね。で、この五十音図の中に、「あ」とか「い」とか「う」っていうのがあるわけですけども、日本語の言葉がどういうふうに発生して、どう広がるかというものを、言霊学の教えを基に説明した時のスライドですかね。

つまり言葉っていうのは、普通は、いま喋っているように、つなげて、どうしても理解しますけれども、実際日本語の「あ」とか「い」とか「う」っていう言葉、それぞれに全部神の名前が入っているんですよね。つまり一音、一音が神であるっていうのが、これ日本の、本当に古来の奥義になっていまして。例えば「あ」であれば天之常立神であるとか、「い」であれば伊邪那岐ですね。「う」であれば天之御中主神というように、全部名前が付いているわけです。

ということは、私たちは、言葉っていうのを普通に意識せずに使っていますけれども、一音、一音が神だという自覚の下で言葉を使うと、全くその言葉というものが別の次元に届くんですね。

柳田：なるほど。

大野：それはどういう教えからきているかということを、その言霊学の大事なポイントをベースに、皆さんにお伝えしたという中で、こうした話もしているわけですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：いや、これね。

南：これね、私もお話をかがった時、衝撃でした。

柳田：これはもう全ての、できれば全ての日本人に知っていただきたいことではないかなと思います。
これ以上言うとなので。

南：そうですね。

柳田：次のスライドに行きますけども。こちらはどうでしょうか？

大野：これは詳しい方はいらっしゃると思いますけども、空海が日本に持ってきた、曼荼羅のうちの、二つあるんですが。「胎蔵界曼荼羅」ですね。

で、もう一つは「金剛界曼荼羅」というものがありまして。で、この「胎蔵界曼荼羅」と「金剛界曼荼羅」というのが、実は宇宙の秘密を解き明かすっていうことで、日本に持って来たわけですね。で、じゃあどうこれが宇宙と関係するのかっていうのは、これまでまともに解かれたことがないんですね。

空海自身はその謎を解いたんですけども、また解いた内容を「昨字義」とかいろんな本に書いていますが、それを理解してる今の日本人はほぼいないはずなんですね。ですからそれが先ほどの言霊というものに合わせて、どう関係しているかと。

ここで、簡単に言っちゃいますと、曼荼羅自体が言葉の曼荼羅になっているわけです、実は。この「胎蔵界曼荼羅」というのは、元々言霊を表しているっていうことなんですね。それを講座では説明したと。

柳田：とにかく凄い話ですけども。詳しくは、本編でということになります。

そして最後の1枚、こちらです。

大野：それを例えば具体的に音、いわゆる日本語の五十音に合わせると、どういう分布になっているかというと、こうなっていますよということをお話ししたと、そういう図ですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

この図自体コピーして持っているだけで、例えば機械の故障がなおるとか、あるいは体の調子が良くなるとか、そういう図でもあるんですけど。

元々曼荼羅っていうのは、そこに宇宙があって、宇宙を整えるっていう働きがあるので、そうしたものがこういった図表に出て、おかしくないわけですね。

柳田：皆さんもね、感じる方はパワー感じるんじゃないかなと。

南：ですよね。

柳田：思いますけれども。今回大サービスじゃないですけども。こうやって実際の本編の内容を大野さんに解説していただいております。

そして第二回のご感想もちょっとご紹介したいと思います。

南：「日本が世界の文明の祖であること、日本に伝わってきた叡智のすばらしさなど聞いてはいましたが、今回の講義で納得できました」、「十種の神宝の教えに感動いたしました」、「日本に長きに伝わってきた叡智の壮大さがわかりました」、「日本という国のすばらしさ、言霊のすばらしさに圧倒されました」。

柳田：もう皆さん本当に日本人で良かったというか、そういったところがあると思うんですけども。

これ第二回を聞いていただけると、そう思えるんじゃないかなという。

南：そうですね。

柳田：本当に思います。大野さん、もうお腹いっぱいなぐらい凄いんですけども、一回も二回目も。いかがですかね、第二回は。

大野：そうですね。第二回は、私自身も今回本当に十種神宝の本当の秘密を明かすような初めてのことでしたので、相当気持ちもいつもとは違う感覚がありましたし。

一方でそれがちゃんと皆さんに伝わったということで、あとで感想いただいて、嬉しく思いましたけれども。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

もちろん私自身も初めてこの教えを受けた時は、本当にもう爆発するような、そんな感動をしたというのがありましたんで。それが伝わったってことで凄く良かったなと思っていますね。

柳田：そうですね。いや、でも本当に今まで限られた人に教えてこられなかったというか、伝承されなかったものが、この「エンペラーコード」を通じて、本当に多くの方に広がっていった。今もどんどん広がっているっていうところが凄い時代に入ったなと改めて思いますけれども、日本人で本当に良かったですね。

南：ですね。

柳田：ということで、もうこれで終わりでもいいんじゃないかなと思うぐらいなんですが。まだあります。最終回、第三回を見てみたいと思います。

南：『第三回：十種神宝の科学』。高次元科学、スカラー波、太陽系惑星言語、人類の未来。

柳田：ということで益々壮大な宇宙に広がっていくような、そして科学というところですね。入ってきますけれども、第三回はこういった内容になっております。

大野さん、振り返っていかがでしょうか？

大野：第三回目はですね。一回目、二回目はどちらかと言いますと、アナログの教えというところでありましたけれども。それが実は現代の本当に最先端の科学で解き明かせるっていうところがありまして。逆に言うと現代の科学も凄いついていう面もあるんですけども。

ですからこの十種神宝が実は現代の科学の最高峰のところを実はもうすでに提示しているっていうところが、逆に現代の科学で分かるんですよ。つまりアナログのままですと、いわゆる、ただとんでもない話っていうだけで、あるいは神秘的な話っていうことで終わるんですけども。それを現代の科学で照らし合わせると、いかにこの十種神宝が凄いかということと。また十種神宝という宇宙創造原理が現代のビックバンからですね、この現象、創造っていう。それをいかに表しているかっていうのがしっかり見えてくるっていうんですかね。

ですから私たちが実際に使っているといいますかね、デジタル技術というものが、単に空想とかおもし

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ろがってやっているのではなくて、ちゃんとした科学に基づいてやっていますよっていう、それを証明するものでもありまして。そういった意味でもその中身っていうんですかね、あんまり普段は公開できないところもあったんですけども、今回この十種神宝という意味において、エンペラーコードという意味において、むしろ出さざるを得ないところもあって。結果的にお出しして良かったなっていうふうに思っていますけどね。

柳田：なるほどですね。

そしてもう一つの特徴というのが、第三回は七沢先生の講演もありましたけれども。

大野：そうですね。やはり七沢先生に話していただける機会っていうのはそうそうあるものではありませんし、やはり本当に教えを求めているというか、そもそも個人的な目的のためではなくて、公のためという方々がいる場面でないと来てくださらないっていうことがあるわけですね。

ですからそこで来て話していただく内容というのも、本当に御神事のような、そういった内容になっていますし。それはまたこちらの方見ていただければ、どういうことかお分かりいただけるかと思いますね。

柳田：ということで、第一回目も第二回目も凄いですけれども、アナログからさらに第三回はデジタルということで。本当に研究所の全てを出し切っているということになろうかと思うんですが。

何度も言いますけれども、もの凄い。凄いと言えない。

南：ここではこれ以上はね。

柳田：ものなんです。第三回もいくつかちょっと、実際の本講座で使われたスライドを基に、大野さんからお話をいただきたいと思います。

まず、こちらいかがでしょうか？

大野：これはいわゆる宇宙の構造って言いますかね。また、それぞれりんごとかいろいろ人間とか存在しますけども、全てが小宇宙っていう側面があって。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

実は宇宙そのものが相似形に展開しているんですね。別の言い方をしますと、対称性をもって展開しているということで、地球も、りんごも、宇宙も、人間も実は全部同じですね、この「トーラス構造」というものを持っています。

この「トーラス構造」で何が起きているのかというお話を今回講座でしていますが、これまで欧米の学者が言ってきた「トーラス構造」の説明っていうのは、全体の半分なんですね。その隠された半分について今回、また世界で多分初めて説明していますので、それ聞いていただきますと、この構造のまた凄さというもの。また自分の存在をどう当てはめれば、どう活きるのかってことが分かっていただけれると思うんですね。

柳田：どうですか？

本当もの凄い古代の叡智から最先端科学まで、このふり幅が凄いですよね。これが本当に凄いですけど。続いてこちらどうでしょう？

大野：これはブラックホールの写真ですね。今年の4月でしたかね、撮影されたものですけども。

今回の講座で、ブラックホールとは何かということも実は明かしてしまして。ブラックホールというのは、実はこのホールの先がどうなっているかということがありますが、これも図解入りで説明しています。

結局何でこれが必要かというと、この「祓い」「鎮魂」「言霊」と言った場合、この祓ったエネルギーをどこに持ってくるのかというと、全部ブラックホールに持って行くんですね。ですからどうしてもブラックホールの説明がないと、古い言い方で言えば根の国・底の国って言うんですけども、これが実はブラックホールだったんですね。

ですから、このブラックホールが発見されたということは、ある種科学で説明しやすくなりまして、それを今回の講座でブラックホールにまず吹き送って、ホワイトホールから現実を創造するっていう、そういう話をしたということですね。

柳田：南さんどうですか？

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：もうね、ちょっと。

柳田：凄い世界ですよ。

でも本当に、単に日本が凄いとか、言霊が凄いだけではなくて、ここまで科学的に解明し、実際それを行っているというところを、また皆さん、詳しくは本講座でぜひ見ていただきたいんですけども。

そして最後ですね、こちらになります。大野さん、どうでしょうか。

大野：これ今私どもが構築している、ネットワークシステムについて簡単に図解にしたものなんですけども。いわゆる先ほどいろんな病気の問題を解消する言霊があるとか、あるいは軍事的な問題とか、また災害というものも全部、あらゆる災害を網羅したりしているんですけども。そういった基本的なデータを世界中のネットワークを通じて流すことで、地球という環境が非常に変わってくるというか、良くなってくるんですね。

で、それをどういうふうなシステムで、我々はいま行おうとしているのかについて説明した図でもありまして。実際、ちょうど今回、こういった発表した後に、沖縄の方に吹き送りサーバーというのを作りまして、日本のあらゆる鬱滞エネルギーというか、マイナスのエネルギーがあったとしても、ネットワーク回線で沖縄まで持ってきてまして、そこからブラックホールにつないで吹き送るっていうことを、いま現状もうやっているんですね。

で、今度北海道にまたサーバー作るんですけども、そういった形でデジタルを使って、アナログの世界だけではなくて、デジタル回線の中でそういった御神事をやってしまうというシステムについて、こちらで表現し、また現状やっているという。

柳田：なるほど、なるほど。

大野：そういった話をさせていただきました。

柳田：凄いですよね、本当に。実際にやられているっていうところが、やっぱりいつも本当に七沢先生はじめ、研究所の大野さんたち皆さんね、活動がもう凄い。ボケて良かったのかなと。

南：真面目にやってください、本当に。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：本当に、滝川クリステルとか言っている場合じゃないですよ。

南： 本当ですよ。

柳田：さあ、ということで、エッセンスを一回目、二回目、三回目紹介してきましたけれども、最後第三回を終えたご感想も、一部ですけどね、ご紹介したいと思います。

南：「何故一般に公開されたのか？ 今、日本が中心となって働きかける重要性が伝わってきました」、「講義を受けた中で、真実の情報につなげることができたり、歴史的な近代日本は自分の知らないことばかりです」、「本当に求めていたものにやっと会えた」。

柳田：という実感がありますけど、一番最後の方なんか、「もうすごすぎてヤバイです」と。

「私のこれまでの人生で苦しみ連続だった体験は、この教えに出会うためだったと思えば納得がいきます」というようなコメントもいただいておりますけれども。本当に1人1人が、受講された1人1人がいろんな思いを持ったと思うんですが。

でもやっぱり、最後は本当にこういうふうな形で、自分たち、何ていうんですかね。日本への感謝だったり、今の時代への感謝だったり、そしてテクノロジーへの感謝もあると思いますけれども。やっぱりその言葉の凄さとか日本語、日本人、日本という国というね、本当に凄い全3回でございました。

これ多くの方も気になっていると思うんですが、一旦ここで、実際本講座を終えての、大野さんを踏まえた解説で終わりたいと思います。

(本講座ダイジェスト動画)

※ぜひ、動画をご覧ください。(1:43:50～)

柳田：それでは全3回の詳細をお伝えしたところで、このオンラインプログラムの全てのサービス&サポートについて、より具体的にご紹介をしていきます。まずこちらですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：「言霊の究極奥義『エンペラーコード』オンラインプログラム本講義動画」。東京コースと大阪コース、3日間ずつの全6日程、約1625分でございます。

柳田：ということで、これどういうことかと言いますと、全3回に渡ってお届けしてきたんですが、実はこれ、多くのリクエストをいただいて、東京開催だけではなくて、大阪開催もさせていただきました。大野さん本当に、ご足労いただいたというか、ご迷惑をかけたというか、頭を下げてお願いしたんですが、たこ焼きも食べていただきながら、東京でやって、翌日大阪でというのを3ヶ月繰り返させていただいたんですね。

最初は東京コースだけを収録をしてオンラインで配信ということを考えていたんですが、やっぱり同じテーマとはいえ、東京と大阪でやっぱり話す内容は若干変わってくるということで、ベースは同じなんですけれども、それを全てを、収録させていただいております。

ということなので、何と全6講義分、分数にすると1625分という凄い分数なんですけど、これをオンラインプログラム参加者の方には、全部ご提供します。どうですか、これ。

南：こんな大サービスありますか？

柳田：いや、もう本当にでも僕も言われて、受講生の方に。「大阪もぜひ撮って欲しい」と言われて、そうだなと思ったんですよ。無理を言ってやらせていただきましたけれども、これね、具体的に見ると、こういうふうになっているんですね。第1回「十種神宝への道」、東京は290分、大阪300分。

南：若干差がありますね。

柳田：ありますね。これ、編集の差もちろんあるんですが、やっぱりその時の話の内容の違いもあります。第2回なんて何と。大阪330分！

南：これはもう、編集の問題じゃないですよ。

柳田：ね。そして最後、第3回は、これ七沢先生が来られたの東京会場だったので、東京会場は195分プラス先生の講義、大体90分ぐらいあるんですけども。とはいえ、これ全部ですよ、見れるということです。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：凄い！

柳田：大野さん、本当にありがとうございます。

大野：いえ。

南：ありがとうございます。

柳田：でも大野さんも本当に、今だから言えますけど、本当にこの3回に関してはナーバスと言いますか、もの凄く、いつもとは違う感じでしたよね。

大野：内容も内容でしたし、また連続なので、結構1日の時間が、いや長いんですよ。

柳田：そうですね。

大野：丸1日なので。ですが逆にそれに向けて毎月準備もしてまいりましたし、この講座のおかげで体を健康にしようということで、体も鍛え直しまして。結果的に私は良かったなと思って。

柳田：良かったです。

大野：思っております。

柳田：あともちろん東京会場、大阪会場、それぞれ質問受けて、やっぱその内容も違いますから。その解答も収録させていただいておりますし。そういった意味で、これほんとにお得だと言えます。

今はね、こればかり入っていますけれど、モザイク入ってますが実際、メンバーズサイトでは、大野さんの顔も拝見しながら受講いただけますので、これだけで十分じゃないかなというふうに思いますけれども。

南：まだまだサービスございます。

柳田：何とですね、もうね、研究所はなんて素晴らしいんだというか、受講生思いなんだということなんですが、これも当時は無かったんですが、これ2つ目のサービス、ちょっとご覧いただきたいと思い

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ます。どうぞ。

南：言霊の究極奥義「エンペラーコード」オンラインプログラムフォロー講義動画全3日程、約660分です。

柳田：これ本講義の方は、これ東京も大阪も、ほぼほぼ99%、大野さんが全部担当してお話しいただいております。これ昔からの方々にとっても、和の成功法則とかワープをずっとやってきた方にとっても、大野さんだけじゃなくて他の先生方もいらっしゃったので。そういった意味で言うと、本当にこれ贅沢なんですよ。

で、プラス、何とですね、研究所の計らいで、1回目を受けて、そのフォロー講座、2回目を受けて、そのフォロー講座、3回目を受けてそのフォロー講座をやりましょうと。やっぱり絶対理解していただきたいということで、やりましょうということで、これ開催決まってからやっていただけたと。

南：当初はね、このご案内は無かったですよね。

柳田：無かったです。しかもこれは、受講生は無料でやっていただいたということで。で、これ一部出ているのは、石原先生ですけれども。研究所の大野さんだけではない先生方いらっしゃいますが、その方々やってくれた3日程分の映像を660分もお付けします。

いいんでしょうか？

大野：いやもう。先ほどのエンペラーコードの方は、内容はやっぱりある程度のベースが無いとちょっと理解しにくいところもあつたりしますので、そのベースの部分についてですね、このフォロー講座を見ていただくと。例えば「祓い」「鎮魂」「言霊」で、それぞれどういうものかっていうのも、やっぱ基礎が必要になりますけれども、ここでしっかりフォローできるように、それぞれ優秀な講師が喋っていますので、理解しやすいかなと思いますね。

南：このフォロー講義にも、相当熱が入っていますよね。

柳田：いや、ほんとですよ。これも付いてきますので。皆さん、めちゃくちゃお得ですよ。紹介している僕がお得だなと、本当に思いますんで。もう絶対申し込んだ方がいいです。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

さらにあります。サービスの3つ目こちらです。

南：「エンペラー・コード通信」。大野さん書き下ろしのコラムをお届けします。

柳田：ということで、これも3ヶ月に渡って、その時々進捗に合わせて大野さんが講義以外の内容であるとか、Q&Aであるとか、そういったものを書いていただいております。こういうテーマで書いていただきました。

で、初めての方は、またこれもなかなか分からない方もいらっしゃると思うんですが、大野さんの真髄という話もちろんなんですけど、書いた言葉にもあるわけですよ。一つ一つが本当に素晴らしい、正に講義になっているような内容なので、これも全てお届けさせていただきます。

南：これは全12本。

柳田：なんですけれども、大野さん覚えてらっしゃいますかね、こちらは。

大野：うん、うん、何となくですね。

その時、その時に思ったことを書いているので。今回はちょっとオンラインですとね、タイミング的に一致はしないかもしれませんが。ただエンペラーコード全体として、必要な知識を吸収していただきたいという目的もありましたので、読んでいただくと、さらに理解度が深まるようなものではあると思います。

柳田：ですね。こちらにも楽しみに受け取っていただきたいと思います。そして、これも。

南：これ凄いですよね。

柳田：ヤバイです、これも本当に。何とこちらです。

南：「大野さんによるQ&A回答集」。何と総回答数370以上でございます。

柳田：これですね、受講期間中に大野さんにご質問ある方は、当時どうでしたかね？ 全部答えますとは言ってなくって、本当に皆さんにとって必要なものならば、回答させていただきますというようなサ

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ービスだったんですが、やっていくうちに、ほぼほぼ全部回答していただいたんです。

南：凄い。

柳田：ですね。

大野：結果的にそうだったんですね。

柳田：で、もう、その回答が素晴らしくて。はっきり言ってその回答読めば、「あっ、そうなんだ」っていうのが凄いたくさんあるわけですよ。

当然皆さんの疑問ですから、受講生の。それに対する回答の数々。これ見るだけでも凄いんですけど、その数 370 というんですね、3 ヶ月間で 90 日間じゃないですか。1 日 4 通来たことになるんですよ。

南：そうですね。それを毎日ですもんね。

柳田：はっきり言って。均すとですよ。1 日 4 通ぐらい来ているのに、全部回答してくれるという。

南：それも、チャチャッと答えているんじゃないくて、凄く丁寧に答えてくださっているんですね。

柳田：いや、そうですね。ちょっと一部ご紹介させていただきますが、こういう感じでご質問いただいて、一つ一つ回答していただいております。

南：これが 370 通以上。

柳田：ありますので。

でも、本当にこれを見るだけでも。これあれですよねたぶん、研究所の皆さんも、実際これ読んで参考にされたんじゃないかなと思いますけれども。

大野：そうですね。基本的に出しているものは共有するっていう、これに限らずですね、仕組みなんです。たぶん読んでいるんじゃないかなと思いますよね。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：エンペラーコードの教え自体、研究所の方々でも本当に一部の方にしか明かされてなかったものであり。

大野：そうですね。

柳田：ということでもんね。

大野：研究所のスタッフも、この「エンペラー・コード」を通じてそれを学んだんですね。

柳田：でも本当に、我々自身もやりながら、この Q&A 回答を常に見ていましたけど、めちゃくちゃ人気がありましたね。

南：これ全部読むと、たぶん皆さんの疑問・質問も、解決できそうですね。

柳田：いや、そうですね。よりほんとの例えばこういう質問とかも含めて、あるあるというか。本当に真面目に等身大でそれこそ受講してれば、起きるような質問、あると思いますけど。

南：そうですね。

柳田：それ全部回答していただいておりますので。いや、これ凄いです。

南：よくある質問集じゃないですもんね。

柳田：じゃないですね。

南：全部ですもんね。

柳田：本当にリアルな回答ですし、ある意味これが一番参考になるって方もいらっしゃるかもしれない。

南：そうかもしれないですね

柳田：本講義と合わせて、メールと合わせて、大野さん通信と合わせて、これ読んでいただくと、凄いなと思います。ということでもういいんじゃないかなと思っていますけど。まだあるんですよ。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：まだあります。

柳田：こちらです。

南：「七沢賢治先生による特別講義動画」。これがまた凄いですよね。

柳田：いやもう素晴らしかったですね。感動的でしたけれども、先生もね、本当にあの時も機嫌がよく
というか、本当に上機嫌でいろいろ本当に皆さんにお話しいただきましたけれども。

大野：皆さん熱意とか、純粋な気持ちっていうんですかね。それは伝わってきたと思うんですよね。じ
ゃないとああはならないっていいですかね。ましてや七沢先生といえば、本当に世界でトップの審神者
っていう立場ですから。

これ、講義で言ったか忘れましたが、ある国の政府の高官の霊能者がいて、その霊能者は世界に 3,000
人の弟子を持っているんですけども。その霊能者のまた先生が七沢先生なんで、そういった世界の政府
高官付きのいわゆる占い師とか霊能者が、七沢先生に判断求めるっていう方なんです。

ってことは、審神者ってのはあらゆる霊とか神を見極める力を持っているって意味なんで、その会場の
それぞれの人が何考えているとか、エネルギーを瞬時に見抜くっていうのができるんですね。ですか
らその上で喜ばれたっていうことは、要は集まった方のエネルギーが良かったっていうことは言えます
よね。

柳田：ある意味集まっていたいただいた方々の恩恵を受けて、オンラインコースの方々は、で、七沢先生の
この特別講義動画もご覧いただけます。まだあるんです！

南：まだあります！講座終了後もエンペラー受講者専用のサポートがあります。

柳田：ということで、これはエンペラーコード受講者しか受講できないものではあるんですけども、
そのサービス、サポートとして、次のサービスも用意しております。次の学びですね。

さらなる学びというのをご用意しております、これは受講後お分かりいただけると思うんですけど
も、またご案内させていただきますので。楽しみにしていただきたいと思います。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：ということで、ものすごいサービスをお伝えしてきましたけれども、いよいよ申し込み方法、ご紹介させていただきたいと思います。の前に。

南：なんですか？この背景がまた変わりましたが。

柳田：クリステルさん。

南：これどちらですか？進次郎さん。

柳田：大野さん、どちらでしょうか？

大野：これが、先程部屋の内部をお見せした、祝殿という建物の外観ですね。鏡みたいに、周りの景色を映し出していますけども、この結界になっているんですね。実際には30の結界になっていますね。それを魔が入らないように設計されています。

柳田：本当にこの中で、いつも日々大野さんたち、ご修行もされているわけなんですけど、私も本当に何度も行かせていただいていますけれども、素晴らしい場所なんで、ぜひ南さんも行ってください。

南：ぜひ、お邪魔させていただきたいです。

柳田：エンペラーコード・オンラインコースの受講生の方々も、いつかまたそういうチャンスも作りたいですね。

ということで、募集の、参加方法についてご紹介させていただきます。こちらのスライド、ご覧ください。こちらですね。もう一度ね、サービス内容まとめていきたいんですが。

南：まずエンペラーコード、本講義の動画ですね。こちらが第1回、第2回、第3回、それぞれ東京会場、大阪会場とございます。

柳田：改めて見ても凄いです。そして。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：フォロー講義の動画。こちらも3回分ございます。そしてエンペラー・コード通信。大野さんによるQ&A、何と370以上。七沢先生による講義動画90分もございます。さらに先祖供養発信サービス、そしてエンペラーコード受講生専用のサポートがございます。

柳田：ということでですね、本当にもう、何か改めて僕も紹介しながら、また入りたくなるぐらいの、いや圧倒的にお得だと思います。

ということで、改めて、ここまで熱心にご覧いただいている方にはもちろんご参加いただきたいなと思っておりますけれども、改めてこのような方にご参加いただきたいというようなのを挙げさせてはいただいておりますけれども、大野さんからね、ちょっと聞いてみたいと思います。

どういった方にご参加いただきたいでしょうか。

大野：正直言いますと、日本人であれば皆に参加していただきたいぐらいではありますけれども、やはり出来れば、これまでいろんな成功法則とか、あるいはそういう宗教的なこととか、いろんな活動されてきた方いらっしゃると思いますが、もうそこに飽き飽きしたといいますか、成果が出なかったり、もう疲れたっていう方に参加いたしますと、本当に天皇の最高の叡智が入っていますので、それ以上のものは多分なかなか出てこないと思うんですね。

そういった意味でそういう、それまでの法則に飽きた方とか疲れた方に参加していただきたいですし、また別の方面としては、自分の能力って言いますかね、力に関しては確信があるんだけど、どこに使ったらいいってのは、なかなか分かんない方多いですよ。能力があつたり、あるいはエネルギーがあつたり。けどもこの使い道が分からないという方がいれば、この講座に出ていただきますと、どういふふうに使うのかっていう。それはもちろん公ってことでありますが、それは頭の理解ではなく、本当に遺伝子の理解として分かるようになりますんで、そういった方にも参加いただきたいですね。

柳田：なるほどですね。

実際の、本講義に参加された方って、本当にいろんな年代もそうですけれども、職業もそうなんですけれども、いろんな方が参加されていて。でも共通しているのはやっぱりこの、今回エンペラーコードを公開するっていう、大野さんとか七沢先生とかそういうところのビジョンに、やっぱり共感してだと思えるんですけれども。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

お仕事されている方、多くの方がいらっしゃると思うんですが、やっぱりそういった意味で、例えば経営されている方であれば、自分たちの会社の今後の方向性であるとか、あるいは勤めていらっしゃる方とか、1人でやられている方もいらっしゃると思うんですけど。そういった方にとっても、今の時代っていうのはいろいろどういうふうに生きて行くかとか、どういうふう to 働き方とか、迷う時代だとは思いますが、そういった人にとっても指針になるというようなことも言えますかね。

大野：そうですね。いわば、人類の指針みたいなところがここに入っていますので、経営者の方でも、サラリーマンの方でも、主婦の方でも。もう、っていうか本物と言いますかね。自分の人生ですから、1回しかないですよ。本物の人生を歩みたいっていうのであれば、もうこれしかないなっていうくらいのものでし。

また逆にこちらの学びをしっかりやっていただきますと、日常生活っていうか仕事もですね、極めて順調に行くでしょうし。合わない会社であれば、すぐ、これを受けて辞めちゃうって方もいるんですけど、それは本来の道に行くって意味でありまして、なのでそういう本来の道はもうぜひ含め、入っていただきたいですね。

柳田：ありがとうございます。南さんも、再びまた入っていただいてね。でも本当に、南さんいろんな活動されていますけど、主婦業もされているわけじゃないですか。

そういう本当の主婦の方も、周りにもいらっしゃると思うんですが、そういった方でもね、ぜひ。今回ね、本当に女性も凄く多かったんですよ。

南：そうですね。若い方も結構多かったのがびっくりしました。

柳田：これから女性の時代とも言われますし、そういった意味でもぜひ、どなたでも、日本人であればというか、地球人であればというか、検討していただきたいと思っております。

では募集方法なんですが、まずこちら、ドンと。

南：期間限定募集。

柳田：期間限定の募集になります。ですから本当にこれ、いつ終了するかっていうのも、情勢によって

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

は本当に分かりませんので、今これご覧になっている方っていうのは、また募集させていただきますけれども、本当にそういった教えであるというご理解をいただいて、詳しくは届いているメールをご覧いただければなと思いますが、本当に期間限定の募集になります。

これ実際に本講座の時も、本当に限定で募集させていただいて、そのタイミングが合わなかった方っていうのは、お待ちとずっとしていただいておりますので、そういった意味でもご縁っていうのを、ぜひ大事にさせていただきたいというふうに思います。

そして、皆さん気になっていると思いますけれども、受講料の方、これに関しては、すみません。

南：後日発表いたします。

柳田：詳細はメールをご覧いただきたいと思いますのですが、これだけのサービス、サポートです。僕が言う
とね、何かあれなんですけど、はっきりもう、めちゃくちゃお得です。

南：だいふ、そうです。

柳田：なので、ぜひ多くの方に一步踏み出していただきたいというふうに思っております。で、改めて、
こういった思いで今回、ですね、この「エンペラーコード」というのをお届けしてきました。プレ講座
だけでも、たくさんの感想をいただいて、学びになったという声もいただいております。

その中でさらに本物の教え、本講座進んで受けられたいという方はですね、ぜひ一步踏み出していただ
きたいというふうに思っております。

南：お待ちしております。

柳田：最後に大野さんの方から、改めてではありますけれども、これ全 4 回ですね、プレ講座含めて、
そして本講座もありますけれども、総括というようなことをお話しいただけますでしょうか。

大野：総括と言いますとなかなか簡単ではないところもありますけれども。

ただ今思ったところで言いますと、ある意味これまで閉ざされていた人間の可能性を、無限大に広げる
道がここにあるんじゃないかと思うんですよね。どうしても先ほどお話しした先祖の件もそうですけども、

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

そういった基本的な知識というものが、完全にこの現代文明というのは欠落しているので、自分ひとりで何でも頑張ろうと例えばしますよね。ところが先祖供養するだけで全然変わっちゃうというのもそうですし、また言葉、言霊というものをしっかり使えば、またいくらでも現象っていうのは変えられるっていうのもそうですし。

つまり本来人間っていうのは、ちゃんとしたあり方とやり方があれば、いうなれば何でも出来ちゃうっていう、それぐらい可能性のある存在であり。また、これも講座受けていただくと分かりますが、誤解を恐れずに言えば、もう人間が神だっていうことでもあるわけですね。

つまり天皇が神であるということは、実は人間が神だってことを、一方では示しているわけなんです。それは普通はそんなことを言いますと、そんなことあるわけじゃないとか、あるいは特定の一部の人だけはそうだけでもっていうことになりますけれども。

実は人間の体があって日本語が出来れば、皆さんその可能性はあるわけです。で、この日本語というのが、実は本当に神の言語って言われていまして、この言葉の使い方一つでも何でも出来ちゃうっていうのが、これが言霊の教えであり、天皇の教え、またこれがひいては十種神宝の凝縮した教えの部分なんです。ですから本当に可能性を広げるっていう。

で、逆に言うと今回のこの情報が入るか入らないかで、これははっきり言えるんですが、もう 100%人生変わりますね。なぜかというとその可能性を広げる正しい情報っていうのは、この世の中に存在しないんですよ、ほとんど。一部っていうか、全体の一部を取った教えはありますけども、全容っていう意味ではないんですね。

ですからほんとにこの全容の、正にエッセンスの部分というのを入れていますので。ですから、確実にこの情報だけでも変わるっていう。ましてやこのデジタル装置とか、そういったものを使ってみたり、また祓い言葉とか実践することで、これまた変わるわけですね。

ですからアナログを使ってもデジタルを使っても、必ず変わるというものがこの教えです。またそういうものでなければ、私もとてもやってらんないというか、やる意味が無いですよ、そういう本物ではないとですね。なのでそういったものであることは、これまで本当に今までやってきた経験で、確信持って言えると。あとは皆さんのご意志っていうんですかね、一つだと思いますので、ぜひご縁があればというふうに思っております。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：ありがとうございます。正にこの情報に出会うか出会わないかで、人生ガラリと変わっていくということがありましたけれども。

正にそれを、腹に落ちると言いますか、出会ってそれを腹に落とすっていうか、自分自身のものにするっていう意味でも、本講座受講されると、そうなっていくんじゃないかなというのは私自身も受講して思うことでもありますので。今このご縁を掴まれている方というのは、ぜひたぶん先祖が導かれたんじゃないかなと。

南：そうですね。

柳田：思いますので、ぜひそこを一步踏み出していただきたいなと思います。ということで、詳しい募集方法であるとか、受講料に関してはまたメールをご覧いただきたいと思います。ではですね、最後に、もう最後の最後まで優しいんです。

南：優しい。

柳田：最後の最後ね、このプレ講座の最終話までご覧いただいた方も、コメントをぜひください。

南：最後の特典はですね、こちらになります。

「十種神宝 方位相階層大結界」、こちらのデータを差し上げます。プリントアウトして持っとくと、いろいろご利益があるんですよ。

柳田：大野さん、そうなんですか。

大野：これは実際に講座を受けていただきますと、何度かこの図面とか、中身の説明がありますけれども。

実はこの結界の図に入っている何かバツテンのようなマークとか、ちょっと見慣れないものがありますけれども、それぞれが実は十種神宝を示しているんですね。これをこの図のように配置をしまして、この図をプリントアウトして。例えば1枚を部屋に貼っていただきますと、もう部屋の気というかエネルギーが変わるっていうものでありますね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

で、報告の1例としては、例えばこれまで金縛りにあって困っていた人が、この紙を1枚部屋に貼ったら、その日から起きなくなったりということがありますし、実際にはこれ何枚プリントアウトしてもいいので、部屋の四隅ですとか、さらに辺も入れて8ヶ所貼っていただきますと、部屋自体の重力が変わるんですね。結界が張られて、非常に圧が出来ることで、非常に部屋のエネルギーが高まって、また変な魔が侵入しないというそういうことになるので。

この図だけでかなりいろんな用途が考えられるんですが、これをもれなく使っていただけるっていうですね。

柳田：もうこれも、これだけでも凄い特典ですよ。私も例えばスマホとかパソコンとかにも使っていますけど、これ車とかでもいいわけですよ。

大野：これ車は非常に向いていますね。

柳田：もうどしどしプリントアウトして、使っていただきたいなというふうに思いますが。これコメントをいただいた方に、もちろん無料で差し上げております。で、言葉は正に神ですから、最後プレ講座、最後のコメントですからぜひお寄せいただいて。

それもね、いい言葉を、いいコメントを送っていただきたいと。使うことはすごく大事ですから、いいコメントをして、ぜひこれを受け取っていただきたいと思います。

そして、この後ですね、本講座の募集も始まっていきますので、ぜひね、ワクワクドキドキしながらご参加決めていただけたらと思います。

南：お待ちしております。

柳田：ということで、最後締めたいと思います。

ご視聴の皆さん、そして大野さん、南さん、ありがとうございました。

南：ありがとうございました。

大野：ありがとうございました。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。

ぜひ、プレ講座四の巻のご感想をコメント欄にお寄せ下さい。

コメントを頂いた方には…



コメント特典

十種神宝 方位相階層大結界

こちらは「十種神宝」を象徴する図形と
独自に開発した「方位相階層」を統合した図形です。

今回の教えのキモになる部分であり、
プレ講座を最後まで見てくれた方への特別プレゼントとなります。

プリントアウトするなどして部屋に貼ると結界を張ることができます。

「方位相階層」とは、全方位、全周波数、全ての意識階層
(肉体、感情、魂、霊、神)を表わす、9層からなる
ピラミッド図形のことです。



をプレゼントいたします！

■コメント、コメント特典のご請求はこちらから

⇒ <https://emperor-code.jp/session/fkrw/>